

『2022 チャレンジウィーク図書館員体験』 参加者によるおすすめの本を展示しています！



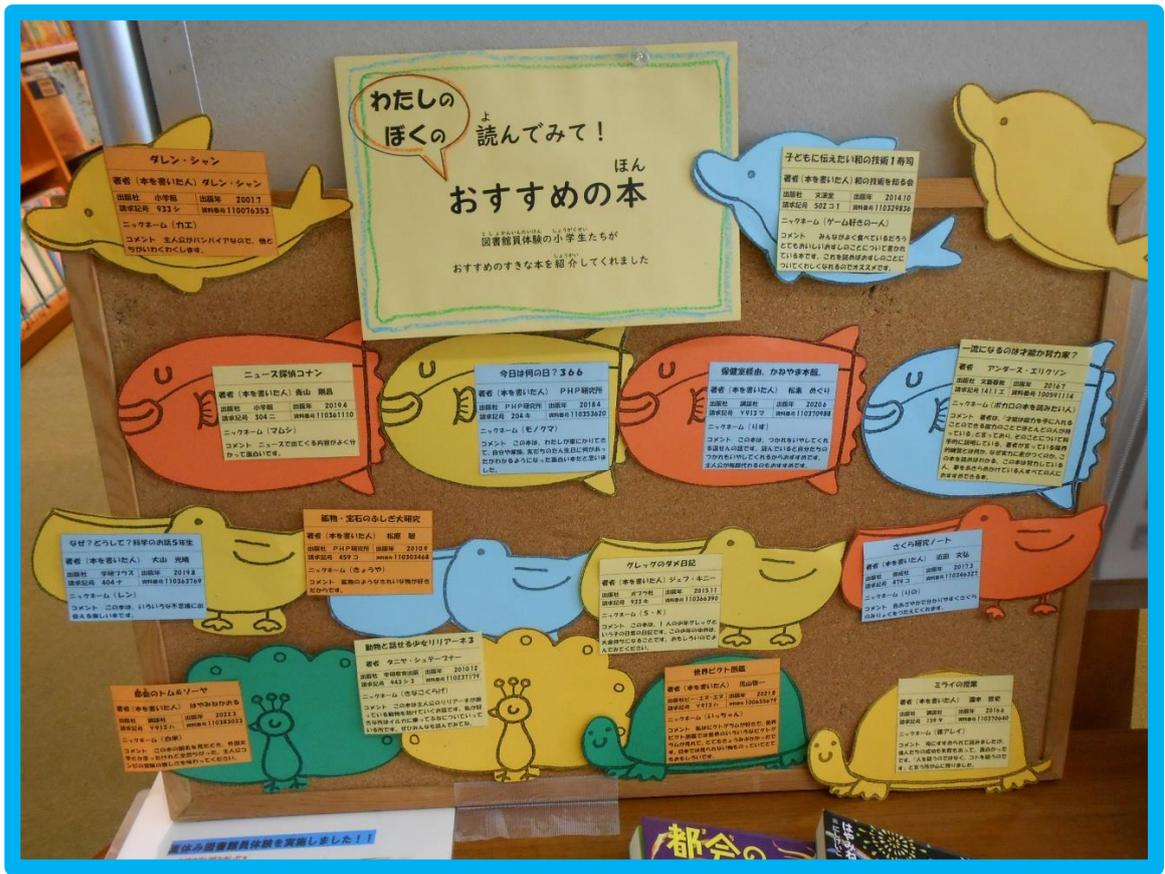
7/28(木)・8/2(火)・8/4(木)の各日3回(①9:00~10:15
②10:30~11:45③13:00~14:15)に、小学校4~6年生の15
名とともに図書館員体験を行いました。

コロナ感染拡大防止のため、参加者は各回2名ずつに制限し、いずれも
短時間の体験となりましたが、カウンター業務を行うだけでなく、動画を見
たり、本にブックカバーをかけたり、おすすめの本を選ぶなど多くの作業に
挑戦していただきました。

選んでもらった本にはコメントがそえられていて、どれも
おもしろそうな本ばかりです。

ぜひ手にとって読んでみてください。





- ◆ 図書館員体験者が選んだおすすめの本 ◆
- 『都会のトム&ソーヤ』はやみねかおる著 講談社
 - 『ダレン・シャン』ダレン・シャン著 小学館
 - 『一流になるのは才能か努力家？』アンダース・エリクソン著 文藝春秋
 - 『世界ピクト図鑑』児山啓一著 ビー・エヌ・エヌ
 - 『鉱物・宝石のふしぎ大研究』松原聡監修 PHP研究所
 - 『動物と話せる少女リリアーネ』タニヤ・シュテーブナー著 学研教育出版
 - 『さくら研究ノート』近田文弘著 偕成社
 - 『今日は何の日？366』PHP研究所
 - 『保健室経由、かねやま本館。』松素めぐり著 講談社
 - 『なぜ？どうして？科学のお話5年生』大山光晴著 学研プラス
 - 『子どもに伝えたい和の技術1 寿司』和の技術を知る会 文溪堂
 - 『ミライの授業』瀧本哲史著 講談社
 - 『グレッグのダメ日記』ジェフ・キニー著 ポプラ社
 - 『ニュース探偵コナン』青山剛昌著 小学館

(受付順)